



2021年12月16日

各位

会社名 燦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 播島 聡
(コード番号 9628 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 横田 善行
経営企画部長
(TEL 06-6226-0038)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。1日平均売買代金については基準を充たしておりません。当社は、2024年12月までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	90,560単位	104億円	74.4%	0.16億円
上場維持基準	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
計画書に 記載の項目				○

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた基本方針、課題及び取組内容

(基本方針)

内在価値の市場での実現を通じて、継続的かつ安定的に1日平均売買代金0.2億円以上の達成を目指す。

(課題)

- 持続的な安定成長と企業価値の向上
- 投資対象としての魅力度向上
- 投資家とのコミュニケーションギャップの解消

(取組内容)

上記の課題に対し、以下の取組を実施および継続してまいります。

① 持続的な安定成長に基づく中長期的な企業価値の向上

2021年度を最終年度とする中期経営計画において特に注力している「ライフエンディングサポート事業の拡充」、「葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大」、「業務効率の改善」をさらに深化させていくとともに、2022年5月公表予定の次期中期経営計画で、当社の中長期的な戦略を明らかにする。

② 株主還元の充実

増配及び自己株式取得の継続による総還元性向の引上げに努める。

③ IRの強化

◆「ライフエンディングのトータルサポート企業への進化」に向けたコーポレートストーリーの発信

次期中期経営計画の公表（2022年5月予定）に合わせて実施する。

◆非財務情報の開示の充実

2021年11月に「ESG推進委員会」を設置。今後グループの企業活動を通じSDGsへの貢献を果たしながら、持続可能な社会の実現を目指すESG経営への取組を開示する。

◆コーポレートサイトの情報開示の充実

・英文サイトの作成

従来の英文決算短信に加え、事業内容、IR情報、招集通知等の英文開示を2021年6月より実施している。

・株主総会、決算説明会等のイベントに参加できないステークホルダー向けの情報開示の充実

－ハイブリッドで開催した2021年6月開催の定時株主総会の動画掲載

－2021年9月開催の株主様向け説明会より説明資料を掲載

－2022年度以降、投資家向け決算説明会の内容や開示のさらなる充実

なお、当社の上場維持基準の適合状況については、算定期間（2020年7月1日～2021年6月30日）における1日平均売買代金は0.16億円となり基準（0.2億円以上）を充たしておりませんが、2021年4月以降、業績の進捗や2回にわたる市場からの自己株式取得の実施を反映して、売買代金が増加しており、2021年1月4日～2021年11月30日における1日平均売買代金は0.25億円となっております。今後、継続して安定的に基準が満たせるよう、上場維持基準の適合に向けた取組を遂行してまいります。

以上